

Vol.247



病院ホームページは

<https://www.mhi.com/jp/company/hospital/kobe/>

かけばし

理念

 すべては患者様と
地域社会のために


発行責任者 病院長 中村 吉貴

先生
おたずねします

眼瞼下垂について

形成外科 医長
西尾 祐美

- まぶたが重い 眠そうな目と言われる 頭痛・肩こりがある
★このような症状があれば、眼瞼下垂が原因かもしれません！

Q 眼瞼下垂とは？

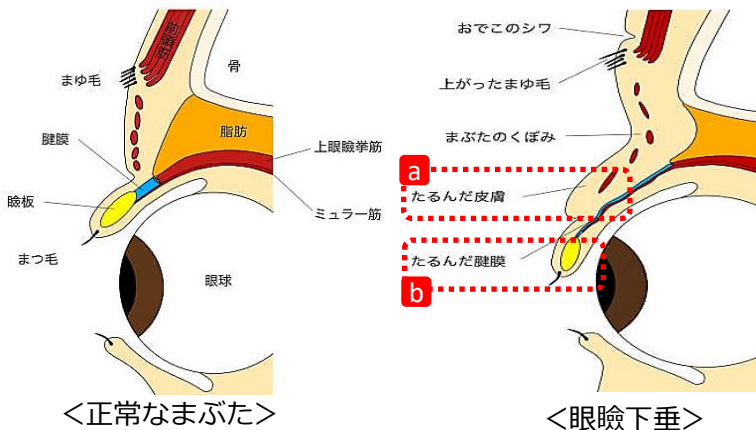
A 「眼瞼下垂」とはまぶたが下がり、黒目の一部が隠れてしまう状態のことです。

まぶたを上げる上眼瞼挙筋という筋肉と瞼板が腱膜という組織で繋がっています。この腱膜が加齢によりたるんでくると筋肉の力が瞼板へ伝わらず、まぶたが上がりにくくなってしまいます。



<正常なまぶた>

<眼瞼下垂>



<正常なまぶた>

<眼瞼下垂>

Q 手術方法は？

A a. 余剰皮膚切除術

視界をさえぎる垂れ下がった皮膚を切除する方法です。上まぶたの皮膚を切除する方法と眉毛の下の皮膚を切除する方法の2通りがあります。

b. 挙筋前転術

まぶたの際を切開し、たるんだ腱膜を瞼板に止めなおす方法です。上眼瞼挙筋の力が瞼板に伝わりまぶたが開くようになります。

眼瞼下垂の手術は保険適応です。治療により視野がよくなり生活の質の向上が期待できます。気になる症状があればお気軽に形成外科までご相談ください。

お問い合わせ先 形成外科受付
078-672-2610 (外線)
8-63-22610 (内線)

<出典:日本形成外科学会ホームページ <https://jsprs.or.jp>>

2023年度 第7回「院内講演会開催のご案内」

本記事を執筆した西尾医師による院内講演会を下記のとおり開催予定です。どなたでも**ご予約不要**でご参加頂けますので、**ぜひお気軽**にご参加ください。

テーマ

「形成外科ってどんな治療をするの？
～眼瞼下垂とキズのきれいな治し方について～」

日時 2月19日(月)
午後3時00分～(約30分)

場所 本館1階 外科・整形外科待合

【お問い合わせ先】形成外科受付：078-672-2610 (外線)
8-63-22610 (内線)

新任医師紹介

本年1月1日より1名の医師が着任しましたので、ご紹介します。

放射線科 木村 和彦

放射線科診断専門医です。診療における心臓以外の全身の画像診断、並びに健診では胸・胃・乳腺のすべてを受け持ちます。よろしくお願いたします。

